



公共空間利用のリノベーション～ミズベリングの試みから～ Renovation utilizing public spaces: New approaches of Mizbering

藤井 政人

Masato Fujii

環境省環境再生・資源循環局 参事官

Director, Environmental Regeneration and Material Cycles Bureau,
Ministry of the Environment

日時: 2017年11月16日(木) 14:55-16:40

会場: 東京大学工学部2号館2階223号講義室

授業科目: 工学リテラシーⅡ(科目番号3799-150)

要旨

概要:

本来「水辺」は、まちと水の曖昧な境界領域。様々な風俗・経済活動が受け継がれる地域であったが、時代の要請に応えるべく様変わりした。度重なる洪水被害に対応した治水事業、効率重視の排水路化、そして高度経済成長期の水環境の急激な悪化。いつしか曖昧な境界領域は「見えない壁」により曖昧性が失われ、現代至る。

しかし、この見えない壁を再び取り払うことが出来れば、水辺は新たな「曖昧な境界領域」として再生し、街のリノベーションにつながるのではないかと。またそのためには、「つくる」だけでなく「育てる」という視点が重要であり、市民・企業・行政の創意と共感により、新たな芸術やビジネスが生まれるのではないかと。

そんな長期的ソーシャルイシューへのチャレンジがミズベリング・プロジェクトである。

本セミナーでは、このミズベリング・プロジェクトのチャレンジの背景や理念、目指す未来像などについて紹介し、今後社会に求められるエンジニア像の一つを提示していく。

